

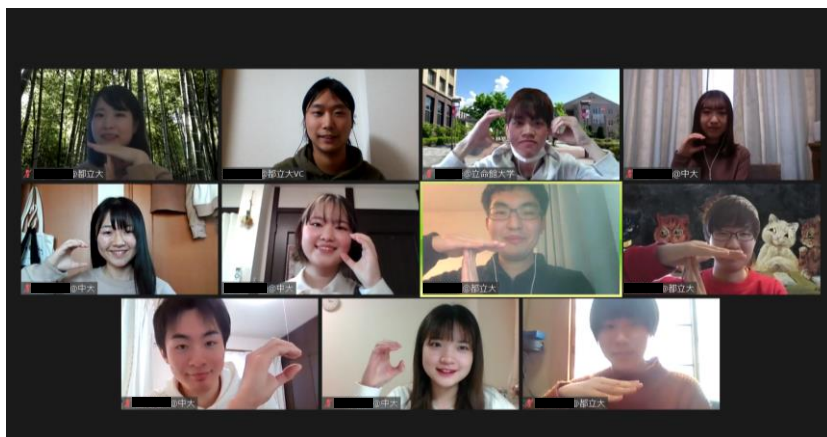
それぞれのボラセンの「今」を
共有しませんか？

オンライン学生交流会

2021年2月19日（金）

報告

作成者：石川 陸矢
(学生コーディネーター)



オンライン学生交流会を開催！

2月19日(金)、学生コーディネーターが企画・運営し、大学ボランティアセンターの運営に関わったり、ボランティア活動の啓発などを行ったりしている他大学の学生を招いて、「オンライン学生交流会」を実施しました。

当日は中央大学の「りこボラ!」、立命館大学サービ斯拉ーニングセンターの学生コーディネーター、都立大ボランティアセンターの学生コーディネーターの3団体から計10人が参加し、オンライン（Zoomミーティング）で、各団体の2021年度の活動についての発表と少人数グループでの意見交換を行いました。

企画の経緯

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面で行う様々な活動が相次いで中止となりました。例年、学生コーディネーターが研修として参加していたような「大学ボランティアセンターで活動している学生スタッフや学生コーディネーターらが集まる交流の機会」も、その内の一つです。

このような活動が制限される状況だからこそ、同じような目的で活動に取り組む他大学の学生と交流する機会をつくり、意見・情報交換することを通して、お互いの活動を参考にし合うことが必要だと考え、今回の交流会を企画することにしました。

さらに交流を通して他団体の環境や取組を知ることにより、自分たちの団体（学生コーディネーター）を相対化して顧みることができるようにもなります。新型コロナウイルス感染症の影響により過去の活動が参考にならない状況だからこそ、コロナ禍に実施してきた活動について振り返るという意味で、この時期に交流会を実施することが自分たちにとって大切なことでした。

また、複数の大学から参加する学生の交流会についてはこれまでは研修として「参加する」ことが主でしたので、そのような交流会を主催し、企画・運営を行うというのは初めての経験でした。そのため、基本的には個人や都立大ボランティアセンターの繋がりの中から参加者を募り、小規模な交流会として実施することにしました。

当日の様子

当日は、それぞれ自己紹介をし、今回の交流会に参加した理由や期待していることなどを互いに話すところから始めました。

その後、中央大学の「りこボラ」、東京都立大学ボランティアセンターの「学生コーディネーター」、立命館大学サービ斯拉ーニングセンターの「学生コーディネーター」の順に、各団体が今年度行ってきた活動について発表し合いました。

発表の中では、大学や団体の紹介といった基本的な事柄から、

今年度の新型コロナウイルス感染症に関わる大学の動き（オンライン授業の有無や課外活動の再開時期など）、今年度の活動内容、今後の予定といったコロナ禍での活動に関わる具体的な活動内容についての情報について取り上げながら、互いに共有することができました。

また、それぞれ団体の組織構造（大学の組織か、サークルかなど）や団体のあり方や活動に対する考え方に違いがあったことで、お互いの活動内容の違いが見え、とても刺激になりました。発表後の質疑応答も時間を超過してしまうほど盛り上がるなど、とても有意義な時間となりました。

休憩を挟んだ後は、少人数のグループに別れて意見交換を行いました。「コロナ禍となって一番苦労したこと（または現在苦労していること）」としては、人を集めづらいということが挙げられました。団体の新規メンバー募集や、何かイベントを行う際の広報手段がオンラインに限られる中で「効果的に広報を行うにはどうすればいいのか」ということはどの団体の学生も悩みとして話していましたし、「コロナ禍で活動が制限されている状況で、そもそも団体自身や実施する取組をこれまで以上に魅力的なものにすること自体が難しいから、人が集まらない」という声もありました。それぞれが行ってきた活動の経験談やノウハウも共有でき、様々な悩みや課題に対する解決策を考えるための意見交換もすることができました。

最後に、参加者全員で写真撮影をして交流会は終了となりましたが、時間に余裕のある参加者でその場に就いて1時間ほど交流を続けました。オンラインであることを忘れるほど話が盛り上がり、楽しく、そして学びのある会となりました。

今回は小規模な交流会でしたが、対面ではなかなか会えない関西の大学からも参加があり、オンラインではありながらもとても密な交流をすることができました。この交流会がきっかけで新たな繋がりをつくることができましたので、今後も互いに刺激し合いながら、自身の活動を盛り上げていけたらいいと思います。

学生コーディネーターが
作成した広報チラシ

